

「公共を国民・住民の手に取り戻す」シンポジウム

「公共」って
何だろう？



「断水が復旧しない」「避難所生活で病気が悪化した」…この間のコロナ禍において浮き彫りになった「公共」の脆弱性は、能登半島地震に際して、いっそう問題になっています。

公共を担うのは公務労働者だけではありません。様々な分野において民間労働者が国民・住民のくらしと権利を守っています。

いま「公共」を担う労働者の実態はどうなっているのか、今後どうしたらいいのか、ぜひ、ごいっしょに考えたいとシンポジウムを開催するものです。

6月12日(水)
までに
お願いします

★★★ 必ず、事前申し込みをしてください ★★★
<https://forms.gle/CqPyLXLJxjZn5cbx7>



日時：2024年6月16日(日)
14:00~17:00

内容：中山徹さん(奈良女子大学教授、自治体問題研究所理事長)をコーディネーターとして、公共を担う官民の様々な労働者が現場から実態報告を行い、フロアを交えた質疑討論を経て、どうしたら「公共を国民・住民の手に取り戻せるか」考えます。

場所：大阪グリーン会館2階大ホール
*オンラインでも参加できます。

主催：大阪公務・公共関連労働組合共闘会議(大阪公務共闘)

連絡先 TEL 06-6354-7201 FAX 06-6354-7206 / Email: mado@osaka-jichiroren.jp (大阪自治労連)

後援
大阪労連